

今月の一品 平成30年8月

夏の装い カンカン帽

不思議な名前のその由来は、たたくと「カンカン」と音がするほど固いからと言う説があり、イギリスでは船乗りが被ったことから「ボーター (boater)」と呼ばれています。

明治末期から昭和初期にかけて、主に男性を中心に洋装・和装問わず、夏場の正装として流行しました。農村でも夏の日除け用などに広く使われ、安価なものから高価なものまで流通していました。

展示されているものは男性用ですが、現在は性別・年齢を越えて、ファッションの一環として取り入れられています。また、熱中症対策としても重宝されるのではないのでしょうか？ (資料No.4015)

※この展示は、平成30年度博物館実習生が企画から解説執筆まで行いました

